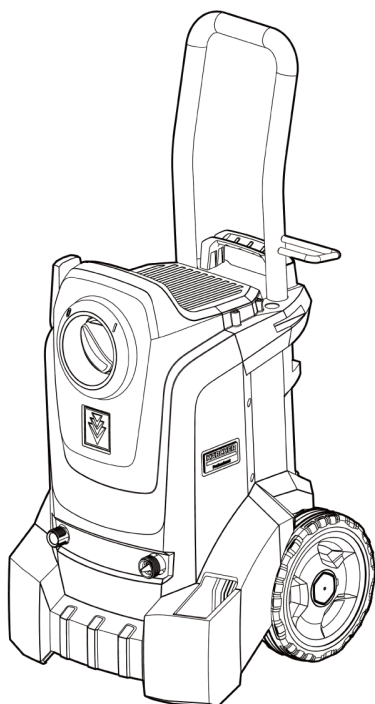
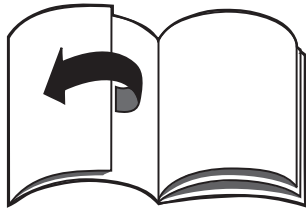


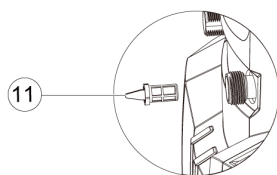
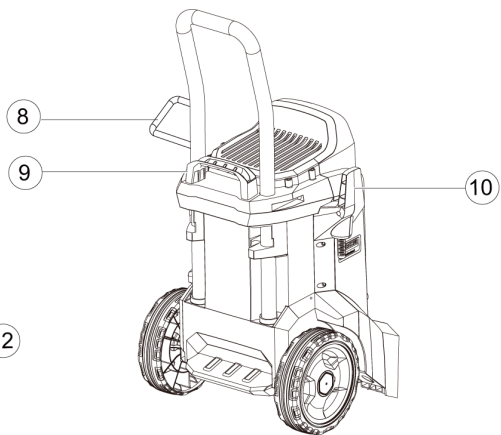
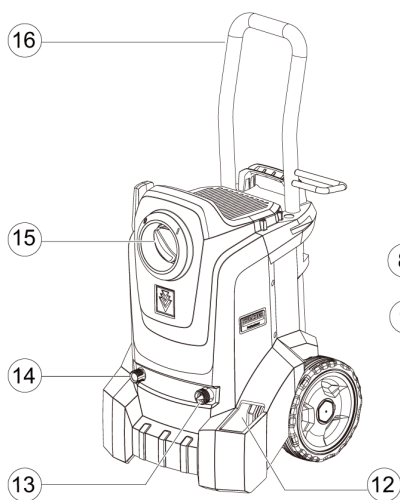
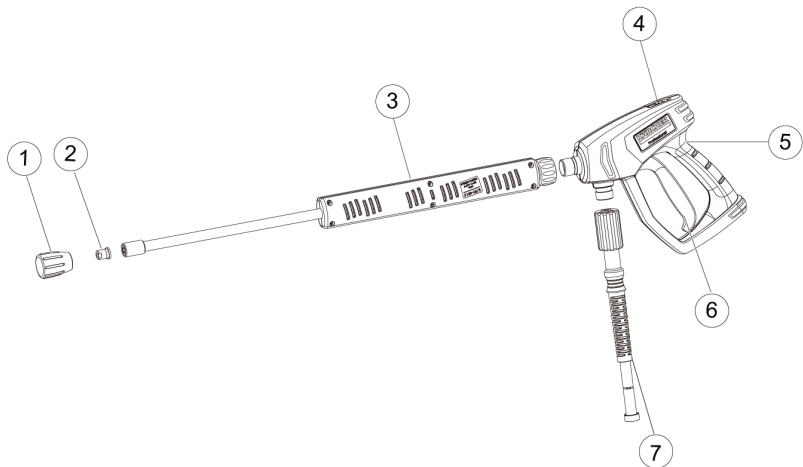
HD 4/8 Classic

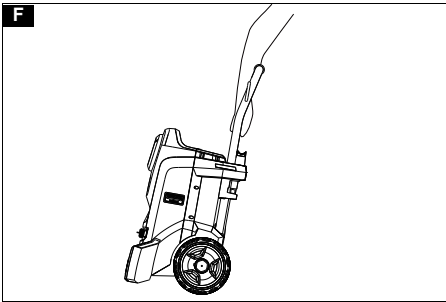
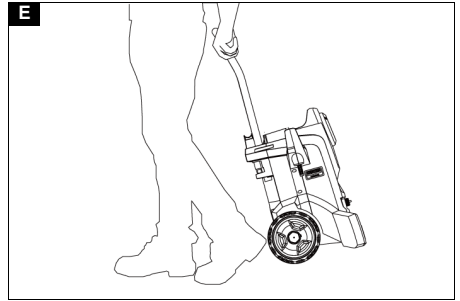
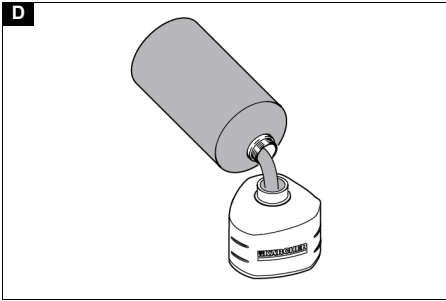
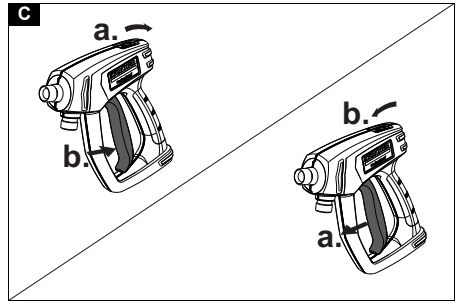
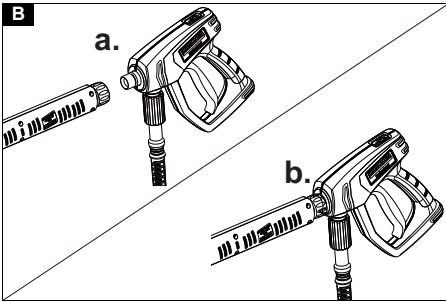


**Register
your product**
www.kaercher.com/welcome









目次

安全注意事項 High-pressure cleaner.....	5
一般的な注意事項.....	7
使用目的.....	7
環境保護.....	7
アクセサリ.....	7
同梱品.....	7
安全上のご注意.....	8
安全機器.....	8
製品のシンボル.....	8
HD 4/8 Classicの概要.....	8
初期始動.....	8
使用方法.....	9
輸送.....	9
保管.....	9
お手入れとサービス.....	10
トラブルシューティングガイド.....	10
保証.....	10
技術データ.....	11

安全注意事項 High-pressure cleaner



当機器の最初の使用前には、この純正取扱説明書ならびに「安全注意事項」をお読みください。記載事項に従ってください。両方の説明書は、後の使用あるいは次の所有者のために保存してください。

- 取扱説明書内の備考の他に、使用国の一般的な安全/事故防止規定を順守してください。
- 機器に取り付けられた警告および情報標識は、安全な操作のための重要な情報です。

安全上のご注意

△ 危険

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性が高い危険事項が記載されています。

△ 警告

この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性がある警告事項が記載されています。

△ 注意

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が傷害を負う可能性がある注意事項が記載されています。

注意

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、物的損害につながる可能性があります。

個人防護具

△ 注意 機器を取り扱う際には、適切な手袋を着用してください。● 高圧洗浄機の使用中に、エアロゾルが発生する可能性があります。エアロゾルを吸入すると健康を害するおそれがあります。雇用主は、洗浄する表面や環境に応じて、エアロゾルの吸入に対して必要な保護措置を決定するために、リスク評価を実施することが義務付けられています。水性エアロゾルに対する保護には、クラスFFP 2以上の呼吸器保護マスクが適しています。● 作業時には、EC指令89/686/ECに規定された適切な個人防護具を着用してください。安全帽、安全ゴーグル、顔面保護具、密閉型聴覚保護具、保護手袋、保護ズボン(保護オーバーオール)、安全長靴。保護服は、噴霧水と飛散粒子からの保護の

みを目的としています。高圧洗浄の直接的な接触から身を守るものではありません。

一般的な安全に関する注意事項

△ 危険 ● 窒息の危険がありますので、包装用フィルムは子供の手の届かないところに保管してください。

△ 警告 ● 機器を適切に使用してください。機器を操作するときは、周辺の状況を考慮し、第三者、特に子供に注意してください。● 本機器は、身体的、感覚的、精神的能力に制限がある方、経験および知識が不足している方がご使用はお控えください。● 機器の使用方法を習熟している人、または使用できる技能があることを提示できる人、使用方法を指導された人のみが機器を使用する必要があります。● 子供が機器で遊ばないように注意してください。● お子様および未成年者には本機器を使用させないでください。

△ 注意 ● 機器の安全装置は使用者を保護するために用意されています。安全装置を改造したり外したりしないでください。

感電のリスク

△ 危険 ● 機器は、適切に接地された電源にのみ接続してください。● 機器の電圧は、電源の電圧と一致している必要があります。● コンセントの最低限の保護を遵守してください。取扱説明書の技術データの章を参照してください。● 機器の操作は漏電遮断器(最大30mA)を介してのみ行ってください。● 製品を主電源に接続するには、プラグを使用します。主電源への常時接続は禁止されています。プラグは、主電源からの切り離しに使用しないでください。● 濡れた手で電源プラグやコンセントに触れないでください。● 電源プラグと延長ケーブルのカップリングは耐水性である必要があります。また、これらを水中に置いてはいけません。カップリングは床に置いてはいけません。コンセントが床から少なくとも60 mmにあることを保証するケーブルドラムを使用してください。● 作業エリア内のすべての通電部品は、高圧洗浄時には保護されている必要があります。

△ 警告 ● デバイスは、電気技師がIEC60364-1に準拠して設置した電気接続にのみ接続してください。● 毎回の運転前、電源プラグ付きの電源コードが損傷していないか必ず点検してください。電源コードが損傷している場合はデバイスを作動させないでください。損傷した電源コードは、認定を受けたカスタマーサービス/電気技師にすぐに交換してもらってください。● 踏みついたり、押しつぶしたり、引っ張ったりして、電源コードや延長ケーブルを損傷させないでください。電源コードを熱、オイル、鋭利な角から保護してください。● メーカーが指定した電源ケーブルのみを使用してください。これはケーブルを交換する場合にも適用されます。詳細については、取扱説明書をご覧ください。● 不適切な延長ケーブルは危険な場合があります。屋外使用が許可され、それに対応したマークが付いており、十分な断面積を持つ延長ケーブルのみを使用してください。**危険** ● 必ず取扱説明書に記載されている断面の、防滴仕様の延長ケーブルを使用してください。接続部分が水に浸からないようにしてください。**警告** ● 電源ケーブルまたは延長ケーブルのカップリングは、同等の水密性および同等の強度を持つもののみと交換してください。強度を持つもののみと交換してください。**危険** ● 本機を高圧のジェット水流や低圧の水流で洗浄しないでください。

△ 注意 ● 運転を長期間停止する場合や機器の使用後は、メインスイッチで機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。

注意 ● スイッチオンプロセスでは、短期間の電圧降下が発生します。● 電力網に不具合がある場合、他の機器に悪影響が生じる可能性があります。● 電源インピーダンスが0.15オーム未満の場合、障害は起きにくいです。

水の接続

注意 ● 必ず常用吐出圧力、機械的負荷、化学的負荷に対して定格されたホースを使用してください。**警告** ● すべての接続ホースのネジ締め部がしっかりと締まっているか確認してください。● 許容給水温度の上限を超えないようにしてください。● 安全な方法でホースの配管を行ってください。**注意** ● 許容最小曲げ半径を超える範囲でホースを曲げないでください。● ホースは、目に見える欠陥がない場合でも、適切な時期に交換してください。ホースの耐用年数は限られています。

注意 ● 水道事業者の規制を順守してください。

高圧接続

△ 警告 ● 高圧ホースが損傷している場合は、機器を操作しないでください。損傷した高圧ホースは直ちに交換してください。メーカーが推奨するホースと接続部のみが使用可能です。詳細は取扱説明書をご覧ください。● ホースに機械的、化学的または熱的な負荷をかけないでください。● すべての高圧ホースのねじ接続は、漏れのない状態で行なってください。● ネジ接続部は最大締め付けトルク20 Nmで締め付けてください。● ホース連結具を使用してください。● 高圧ホースおよび付属品は、少なくとも製品と同じ定格常用吐出圧力のものを使用してください。● 高圧ホースを毎日点検してください。● ねじれた高圧ホースを使用しないでください。● 外側に金網が見える高圧ホースは使用しないでください。● ネジ山が傷んでいる高圧ホースは使用しないでください。● 損傷が確認できなくても、車両等に踏まれた、または衝撃を受けた高圧ホースは使用しないでください。● 高圧ホースは、車両などが踏まないように敷設してください。**危険** ● ホーススリーブ、保護カバーまたはシールドを使用しない。ホースから生じる危険を排除してください。

警告 ● 液漏れはケガの原因になります。素手で漏れた箇所を探さないでください。**注意** ● 高圧ホースは、機械的な負荷がかからないように保管してください。

使用方法

△ 危険 ● 超高圧洗浄機の初期始動を誤ると、場合によっては重傷または死亡に至る危険性があります。

注意事項 ● 各国の事故防止規程を厳守してください。高圧洗浄機は定期的に試験を行い、試験結果を文書で記録する必要があります。**注意** ● 現地の事故防止ガイドラインや安全上の注意に従ってください。

危険 ● すべてのフード、カバー、電気キャビネットが閉まっているときのみ、製品を使用してください。● 作動中は、絶対に監視の目を離さないでください。● エネルギー供給に不具合がある場合、不具合が解消されたときに制御不能な状態で再起動するのを防ぐため、製品の電源を切っておいてください。● 休憩中に不正に使用されないよう、製品をロックしてください。**警告** ● 危険な状況はすぐに排除してください。

危険 ● 薬物やアルコールの影響下にあるときは、製品を使用しないでください。● 無許可のアクセスを防ぐため、作業場所の視界をきれいに確保してください。

い。注意書きの標識を立てて、周囲を封鎖してください。作業領域(半径10m以内)には、作業者のみに立ち入りを許してください。● 足場上で作業を行なう際には、墜落防止のために適切な措置を講じてください。● 発生する反動で転倒する危険性があります。● 作業するときは、必ず安定した場所に立ってください。常にしっかりと立つようにしてください。**注意** ● 作業場を清潔に保ち、整理整頓をしてください。**警告** ● 密閉された空間で作業する場合は、適用される国の作業安全規則を厳守してください。**危険** ● 使用者が反力をコントロールできるように、ノズルと作動圧を互いに調整してください。反動力は250N(25kg)を超えてはなりません。**注意** ● 反動力が150N(15kg)を超える場合は、手で保持するスプレー装置にボディサポートを装備してください。**危険** ● 必ずノズルの出口がすぐにわかるようなマーキングを備えた配管洗浄用付属品を使用してください。ノズルとマーキングの間隔は、500mmとします。● 高圧洗浄機を作動させる前に、配管洗浄用付属品を洗浄する配管の中に500mm以上挿入してください。● 危険なエリア(ガソリンスタンドなど)で機器を使用する場合は、そのエリアの安全規制を遵守してください。● 爆発の危険がある場所での操作は禁止されています。● 溶剤、溶剤を含む液体、または希釈されていない酸は絶対に吸い込まないでください。これにはガソリン、ペイントシンナー、燃料油といったものが含まれます。それらの噴射は可燃性が非常に高く、爆発性があり、有毒です。

△ 警告 ● スプレーランスから出る高圧噴射により、反動力が発生します。角度付きのスプレーランスでは、力が上向きに作用します。ガンとスプレーランスをしっかりと持ってください。● 各国の事故防止規程を厳守してください。高圧洗浄機は定期的に試験を行い、試験結果を文書で記録する必要があります。● 現地の事故防止ガイドラインや安全上の注意に従ってください。● 健康に有害な物質(アスベストなど)を含む物体には噴射しないでください。● 毎回の運転前には、機器と付属品(高圧ホース、ガン、安全装置など)を点検し、これらが正常な状態であることを、安全に運転できることを確認してください。機器が損傷している場合は使用しないでください。損傷した部分はすぐに交換してください。

△ 注意 ● 機器の動作中は、機器を絶対に放置しないでください。● エンジン運転中はフードを開けないでください。● 操作中にガンのレバーをバンド等で固定しないでください。● 本機器は平らで安定した地面に置いてください。

● **注意事項** 0°C未満の温度で機器を操作しないでください。

洗浄剤を使用時の操作

手と腕の振動値が 2.5 m/s² の超える装置(取扱説明書の技術データの章を参照)

△ 注意

- 機器の長時間に渡る使用は、振動による血行障害を手にもたらすことがあります。ただし、使用の一般的な所要時間は、影響要素が多数に及ぶために特定できません。
- 個人差のある血行障害(頻繁に指の冷えあるいは疼き)
- 低い周辺温度。手の保護用に手袋を着用してください。
- 長時間の力んだ握りによる血行障害。
- 中断なしでの作業はせず、休憩を挟んでください。機器の定期的な長時間使用で症状、例えば指の冷えや疼きの再発する場合には、医師に相談してください。

空気入りタイヤ搭載の機器

△ 注意・リムがボルトで固定されている機器の場合：タイヤの空気圧を調整する前に、リムのすべてのボルトがしっかりと締め付けられていることを確認してください。●タイヤの空気圧を調整する前に、コンプレッサーの圧力レギュレーターが正しく設定されていることを確認してください。●タイヤの最大許容空気圧を決して超えないようにしてください。タイヤの空気圧は、タイヤ、または場合によってはリムで読み取る必要があります。値が異なる場合は、小さい方の値に従ってください。

温水、ガソリン駆動装置、および内燃機関搭載装置

△ 危険・不適切な燃料は爆発の危険があります。取扱説明書に指定されている燃料のみを使用してください。●給油の前にモーターのスイッチを切ってください。●狭い場所での給油はしないでください。

△ 警告・排気ガスは有毒です。排気ガスは絶対に吸い込まないでください。機器を使用する部屋は十分に換気し、排気ガスが排出されることを確認してください。●給油時は、機器が高温の状態ではないように注意してください。●こぼれた燃料はすぐに掃除してください。

△ 注意・火傷の危険があります。排気口の上がかがんだり、排気口に手を入れたりしないでください。燃焼運転中は、ボイラーに手を触れないでください。●排気口は絶対に塞がないでください。●吸気口付近に排気ガスが発生していないことを確認してください。●取扱説明書に記載されているガソリンエンジン搭載機器の安全注意事項を守ってください。

お手入れとサービス

△ 警告・清掃、メンテナンス、部品交換を行う前に、機器のスイッチをオフにして、コンセント接続使用の機器の場合は電源プラグを抜いてください。●機器および付属品での作業前には常に、機器やアクセサリーの圧力を抜いてください。

△ 注意・修理は、機器に関連するすべての安全指示に精通しており、資格のある認定されたカスタマーサービスまたはスタッフのみが実行できます。●すべての不具合が解消されるまで、作業を再開させないでください。●注意事項 機器の安全点検は使用する場所で適用されている規制に基づいて行ってください。●電気配線のショートまたはその他の損傷を起こす可能性がある製品や、精密機器などを高圧洗浄で清掃しないでください。**注意**・アセトン、酸原液、溶剤は、製品に使用されている材料を腐食させるので、使用しないでください。

付属品と交換部品

△ 注意・純正のアクセサリーおよび純正のスペアパーツのみ使用してください。これにより機器を安全にご使用できます。●危険を回避するために、修理および交換部品の取り付けは認可されたカスタマーサービスに依頼してください。

輸送

△ 注意・運搬する前に機器の電源を切ってください。重量を考慮して、機器を固定してください。取扱説明書の技術データを参照してください。●事故や怪我の危険。輸送および保管の際には、機器の重量に注意してください。取扱説明書の技術データを参照してください。●一般道路で製品を運搬する場合は、適用される国の道路交通規則を厳守してください。●ロープ、チェーン、テンショナー、吊り具などは、適用さ

れる規則に適合したリテーナを装備したものを使用してください。

一般的な注意事項



デバイスを初めて使用する前に、このオリジナル取扱説明書および付属する安全に関する注意事項を読んでください。記載事項に従ってください。両文書を、後の使用あるいは次の所有者のために保存してください。

使用目的

高圧ジェット付き高圧洗浄機は、以下のような対象物の洗浄のみを目的としています。

● 機械、車両、構造物、工具、建物正面、テラス、ガーデン設備など。
オプション付属品を使用すれば、洗剤の使用も可能です。頑固な汚れには、専用付属品のダートブラスターの使用をおすすめします。

給水限界値

注意

汚水

機器の早期の磨耗や不純物が堆積する可能性があります。

水道水、または指定された限界値を超えない再生水のみを使用して機器に供給してください。

次の限界値が給水に適用されます。

- pH値：6.5-9.5
- 電気伝導率：淡水の導電率+ 1200 µS/cm、最大導電率2000 µS/cm
- 沈降性粒子（サンプル量1 l、沈降時間 30 分）：
＜ 0.5 mg/l
- ろ過可能な粒子：＜ 50 mg/l、研磨剤なし
- 炭化水素：＜ 20 mg/l
- 塩化物：＜ 300 mg/l
- 硫酸塩：＜ 240 mg/l
- カルシウム：＜ 200 mg/l
- 総硬度：＜ 28 °dH、＜ 50° TH、＜ 500 ppm (mg CaCO₃/l)
- 鉄：＜ 0.5 mg/l
- マンガン：＜ 0.05 mg/l
- 銅：＜ 2 mg/l
- 活性塩化物：＜ 0.3 mg/l
- 不快な臭いがない

環境保護



梱包材はリサイクル可能です。梱包材は環境に適した方法で廃棄してください。



電気および電子機器には、誤って取り扱ったり廃棄したりすると人間と環境に危険を及ぼす可能性があるバッテリーや充電式バッテリーパックあるいはオイルなどの構成要素が含まれています。これらは機器が適切に機能するために必要な構成要素です。このシンボルが表記されている機器は、各自自治体の規定に従って廃棄してください。

アクセサリー

純正のアクセサリーのみ使用してください。アクセサリーに関する詳細については、www.kaercher.com/jp/をご覧ください。

同梱品

開梱の際に内容物が揃っているか確認してください。付属品が欠けている場合や輸送による損傷があった場合は販売業者にご連絡ください。

安全上のご注意

- 初めてご使用になる前に、安全に関する説明書 5.951-949.0 を必ずお読みください。
- 高圧洗浄機に関する各国の規制を厳守してください。

安全機器

安全レバー

トリガーガンの安全レバーは、不用意に機器が作動することを防ぎます。

オーバーフローバルブ

>トリガーガンを放すと、オーバーフローバルブが開き、全水量がポンプ吸込側に逆流します。
>オーバーフローバルブはメーカーで設定され、密閉されています。設定はカスタマーサービスののみが行います。

製品のシンボル



高圧洗浄機を人や動物、通電中の電気機器、または製品本体に向けてください。

凍結から製品を保護してください

適用規制にもとづき、システムセパレータのない飲料水ネットワークでは本製品を絶対に使用しないでください。高圧洗浄機を使用する家庭用水システムの接続部に、EN12729タイプBAに準拠したシステムセパレータが装備されていることを確認してください。システムセパレータを通過した水は、飲用不可に分類されます。システムセパレータは必ず取水口に接続し、決して直接製品に接続しないでください。



警告

高圧ウォータージェットは、ノズル出口速度が速いため、騒音が大きく、直近の周囲の人に不快感や聴覚障害(耳鳴りなど)を与える可能性があります。高い騒音レベルが続くと、難聴を引き起こす可能性があります。

- 所定の個人防護具を着用してください。
- 高い騒音レベルは、口頭伝達に支障をきたし、音響警告信号を感知する能力を低下させたり妨げたりします。決して一人で作業しないでください。作業領域の外には、もう一人の人間が必ず立ち会ってください。

HD 4/8 Classicの概要

イラスト A

- ① ノズル固定ホルダー
- ② パワーノズル
- ③ スプレーランス
- ④ 安全ロック
- ⑤ ガンハンドル
- ⑥ トリガー
- ⑦ 高圧ホース
- ⑧ ランスホルダー、トップ(拡張時)
- ⑨ ハンドル
- ⑩ ケーブルフック

- 国内で定められている事故防止規程を厳守してください。高圧洗浄機は定期的に点検する必要があります。点検結果は必ず文書で記録してください。
- 製品や付属品を改造しないでください。

- ⑪ 給水フィルタ
- ⑫ プレーランス受け(ロングスプレーランス用)
- ⑬ 取水口接続部
- ⑭ 高圧ホース取付け口
- ⑮ 電源スイッチ
- ⑯ プッシュハンドル、トップ(拡張時)

初期始動

△ 危険

感電によるケガの危険性

給水、電気接続、高圧ネットワークの設置は、認可された技術者のみが行うことができます。

操作部分

- 洗浄時の操作で使用するのは黄色の部分です。

開梱

1. 開梱時にパッケージの middle を確認してください。
2. 輸送中の損傷が発生した場合は、直ちに販売店にお知らせください。

付属品の取り付け

1. ノズル固定ホルダーを使用してノズルをスプレーランスに取り付けてください。
2. スプレーランスを高圧ガンに接続します。
イラスト B
3. 高圧ホースを高圧ガンに取り付けます。
4. 高圧ホースを高圧ホース取付け口に固定します。

電気接続

△ 危険

感電によるケガのリスク

製品を主電源に接続するには、プラグを使用します。主電源への常時接続は禁止されています。プラグは、主電源からの切り離しに使用します。接続値については、銘板または技術データを参照してください。

1. 主電源ケーブルをほどこき、地面に置きます。
2. 主電源プラグをソケットに差し込みます。

給水部

水道への接続

△ 警告

飲料水網への汚染水の逆流による健康リスク。

ご使用の水道局の規定を守ってください。

1. 給水圧力、入力温度、給水量を確認してください。詳細については、技術データを参照してください。
2. 給水元と機器の給水部をホース(最小長 7.5 m 以上、最小径 3/4 インチ)で接続します。
3. 給水口を開きます。

製品のエア抜きをします。

1. 給水口を開きます。
2. パワーノズルを取り外します。
3. 製品の電源を入れます。

4. 水の中に気泡がなくなるまで、製品を作動させます。
5. 製品の電源を切ります。
6. パワーノズルを取り付けます。

使用方法

△ 危険

爆発のリスク!

可燃性の液体をスプレーに使用しないでください。本製品を危険領域(例: 給油所)で使用する場合は、関連する安全規則を遵守する必要があります。

高圧ガンの開閉

1. 安全ロックを押し戻し、トリガーを作動させます。
イラスト C
高圧ガンが開きます。
2. トリガーを放し、安全ロックを前方に押しします。その後、高圧ガンが閉じます。

高圧モード

注意事項

- 本機は垂直方向にも使用可能です。
 - 本機には圧力スイッチが搭載されています。高圧ガンが開いているときのみモーターが起動します。
 - 高圧ホースは、鋭利な刃物に近づけないでください。
1. ホースリール付き製品の場合、高圧ホースをホースリールから完全に引き出してください。
 2. 給水口を開きます。
 3. 電源スイッチを「1」にします。
 4. 高圧ガンの安全ロックを開きます。
 5. 高圧ガンを開きます。
 6. 高圧ガンを洗浄したい対象物に向け、洗浄作業を開始します。

洗剤を使用する場合

注意事項

洗剤を使用する場合はフォームランス(オプション)が必要です。

△ 警告

洗剤の誤った取り扱い

健康リスク

洗剤のパッケージに記載されている安全上の注意事項に従ってください。

注意

不適切な洗剤

製品および洗浄対象物を損傷することがあります。洗剤は、必ずKÄRCHERが認可したものを使用してください。

洗剤に添付されている使用量に関する推奨事項と注意事項を遵守してください。

環境保全のため、洗剤は控えめにご使用ください。KÄRCHERの洗剤は、故障のない稼働を保証します。お気軽にご相談いただくか、カタログや洗剤に関する情報資料をご請求ください。

1. フォームランスの容器に洗剤を入れます。(洗剤のボトルに記載されている使用量に従ってください。)

イラスト D

推奨される洗浄方法

1. 乾燥した表面に洗浄剤を控えめにスプレーし、効果を発揮させます(乾燥していない状態にします)。
2. 分解された汚れを高圧ジェットで洗い流します。

洗剤使用後

1. フォームランスにきれいな水を約30秒間流します。

ノズルの交換

△ 危険

怪我の危険!

ノズルを交換する前に機器の電源を切り、機器が無圧になるまでトリガーガンを握らないでください。

1. トリガーガンをロックします。これを行うには、安全レバーを前方に倒します。
2. ノズル固定ホルダーを緩め、ノズルを取り外します。
3. 新しいノズルを装着します。
4. ノズル固定ホルダーを取り付けます。

使用中の中断

注意事項

製品をシャットダウンすると水圧が下がるため、高圧ガンの作動力を軽減し、装置の耐用年数を向上させることができます。

1. 高圧ガンを開けると、製品が中断します。
2. 安全ロックを前方に押し、高圧ガンの安全ロックを閉じます。
3. 安全ロックを押し戻すと、高圧ガンの安全ロックが開きます。
4. 高圧ガンを開くと、製品のスイッチが再び入ります。

仕上げ作業

1. 水の供給を停止します。
2. 高圧ガンを開きます。
3. 電源スイッチを「1」にして、本機を5~10秒間作動させます。
4. 電源スイッチを「0」にします。
5. 高圧ガンを閉じます。
6. 乾いた手で電源プラグを抜いてください。
7. 取水口接続部から取り外します。
8. 高圧ガンの安全レバーを閉じ、安全ロックを前方に押しします。

輸送

△ 注意

機器運搬時の転倒・転落を防止する

1. 高圧ガンを取り付けたスプレーランスをフックにセットします。
2. 電源ケーブルをケーブルフックに巻き付けます。
3. ホースリールがない場合: 高圧ホースを巻き上げ、フックにかけます。
ホースリール付きの場合: 高圧ホースをホースリールに巻き付けます。
4. 製品を車両で輸送する場合は、製品のずれや転倒を防ぐために固定してください。
5. 短距離の移動の場合は、ブッシュハンドルを引っ張って移動させてください。

イラスト E

6. 階段を上るときは、ハンドルを持ち、本体を持ち上げてください。

イラスト F

保管

△ 注意

怪我と損傷が引き起こされる危険!

傾斜面では本機が転倒する恐れがあります。保管の際には装置の重量に注意してください。機器は屋内にのみ保管してください。

凍結

注意

完全に水を放かかないと、凍結で機器が壊れます。

凍結しない場所に機器を保管してください。

霜のない保管が不可能な場合:

1. 余分な水を排出します。
2. 不凍液を機器に送り込みます。
3. ポンプと通水部分が空になるまで、機器を最大1分間作動させます。

注意事項

一般的に入手可能、またはグリコールベースの不凍液を使用してください。不凍液メーカーの取扱説明書を遵守してください。

お手入れとサービス

△ 危険

不注意による始動

ケガ、感電のリスク

作業を行う前に、直ちに本機の電源を切り、電源プラグを抜いてください。

注意事項

使用済みのオイルは、必ず指定された回収場所で処分してください。古いオイルは、こちらの場所で処分してください。古いオイルで環境を汚染することは、法律で禁じられています。

安全検査 / メンテナンス契約

定期的な安全検査を手配するか、メンテナンス契約を結ぶことができます。詳しくはカスタマーサービスまでお問い合わせください。

メンテナンス間隔

毎回の使用前に

1. 電源ケーブルに損傷がないかを確認し、損傷したケーブルは直ちに正規のカスタマーサービスまたは資格を持った電気技師に交換させてください。

2. 高圧ホースに損傷がないかを確認し、損傷した高圧ホースは直ちに交換してください。
3. 製品に漏れがないかを確認してください。1分間に3滴の水滴が許容されます。より深刻な水漏れの場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。

毎週

1. 水フィルターを洗浄してください(給水フィルターの洗浄章を参照)。

500作動時間ごと、少なくとも毎年1回

カスタマーサービスでオイル交換させてください。

メンテナンス

給水フィルターの洗浄

注意

給水接続部の給水フィルターの破損

汚染された水による製品の損傷

給水フィルターを水接続口に差し込む前に、これが破損していないことを確認してください。

1. 給水フィルターを引き抜いてください。
2. 給水フィルターは流水で洗浄してください。
3. 給水フィルターを水接続口に再び挿入してください。

トラブルシューティングガイド

△ 危険

不注意による始動によってケガや感電が生じるおそれがあります。

作業を行う前に、直ちに本機の電源を切り、電源プラグを抜いてください。

電気部品は、正規のカスタマーサービスで点検・修理させてください。

この章に記載されていない故障が発生した場合、不明な点があるとき、または連絡を明示的に指示されたときは、正規のカスタマーサービスに連絡してください。

Fault	Remedy
製品が起動しない	<ul style="list-style-type: none">● 電源ケーブルに損傷がないか確認してください。● 主電源電圧を確認してください。● 製品が過熱した場合:<ol style="list-style-type: none">a 電源スイッチを「0」にします。b 製品が冷えるまで15分以上待ってください。c 電源スイッチを「1」にします。● 電氣的障害が発生した場合は、カスタマーサービスに連絡してください。
製品の圧力が上がらない	<ul style="list-style-type: none">● 標準ノズルを装着します(サイズ指定、技術データ章を参照)。● 高圧ノズルを清掃/交換します。● 製品のエア抜きを行います(製品のエア抜きをします。章を参照)。● 水フィルターを洗浄してください(給水フィルターの洗浄章を参照)。● ポンプに接続するすべての注入ロパイプを清掃してください。● 水の供給量を確認します(技術データ章を参照)。
ポンプの漏れ 毎分最大3滴の水が許容されます。	<ul style="list-style-type: none">● より深刻な漏れが発生した場合は、カスタマーサービスに機器の点検を依頼してください。
ポンプの異音	<ul style="list-style-type: none">● 水フィルターを洗浄します。● 給水ラインに水漏れがないかを確認します。● 製品のエア抜きを行います(製品のエア抜きをします。章を参照)。● 必要に応じて、カスタマーサービスにご連絡ください。

保証

国ごとに弊社の販売会社が発行する保証条件が有効です。保証期間中は、資材または製造上の欠陥が原因とみられる装置の故障に関しては無料で修理いたします。詳しくはカスタマーサービスまでお問い合わせください。

技術データ

		HD 4/8 Classic 50Hz	HD 4/8 Classic 60Hz
電気特性			
電圧	V	100	100
相	~	1	1
周波数	Hz	50	60
接続出力	kW	1.4	1.4
保護分類		IPX5	IPX5
電源保護 (遅延)	A	19	17
水接続			
入口圧力 (最大)	MPa (bar)	1.0 (10)	1.0 (10)
入口温度 (最大)	° C	40	40
給水量 (最小)	l/h (l/min)	480 (8.0)	480 (8.0)
吸引高さ (最大)	m	1.0	1.0
機器のデータ			
標準ノズルのノズルサイズ		32	32
吐出水量	l/h (l/min)	400 (6.7)	400 (6.7)
動作圧力	MPa (bar)	8 (80)	8 (80)
最大許容圧力	MPa (bar)	12 (120)	12 (120)
高压ガンの反動力	N	14.2	14.2
音圧レベル	dB(A)	92	92
寸法と重量			
重量 (付属品なし)	kg	14.2	14.2
長さ x 幅 x 高さ	mm	350 x 330 x 880	350 x 330 x 880

技術的な変更が行われることがあります。



THANK YOU!

MERCI! DANKE! ¡GRACIAS!

■ ユーザー登録で1年保証を2年に延長できます。

品質に自信があるからこそその長期保証。
お客様に安心してお使いいただくためのアフターサービスを提供しています。
ユーザー登録をしていただくことで、製品の保証期間を2年に延長いたします。

※ご購入後30日以内に、当社ホームページからユーザー登録が必要です。
期間を過ぎてからの登録は対象外とさせていただきます。
※アクセサリー、パーツ、洗浄剤を除きます。

下記URLまたはQRコードで、当社ホームページからお申し込みいただけます。
https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/registry.html



Webからのユーザー登録はこちら



■ 製品のご用命、仕様、修理に関するお問い合わせ

業務用製品コールセンター

TEL : 045-777-7410 FAX : 045-777-7411

受付時間 : 9:00~17:00 月曜~金曜日(祝日、当社休日を除く)

※修理のお申し込みは、下記 URL または QR コードで当社ホームページからもお申し込みいただけます。

https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/repair_menu.html

Webからの修理申し込みはこちら

